

千種図書館 縮小・民営化に関する アンケート結果

2018年9月14日

1. 調査の目的

名古屋市内の図書館が「アクティブ・ライブラリー構想」（2017年12月策定）によって大きく変えられようとしている。この構想は、30年先を見据えた「今後10年間の取り組みを示した」と位置付けられ、「『縮充』の精神」で施設の再編成を行う、としている。

具体的には、現在21館ある市内の図書館（中央館1、区分館14、支所館6）を、鶴舞中央館は引き続き「中央館」とするが、残り20館は5つのブロックに分ける。そして、ブロック内の施設を3段階（アクティブライブラリー、コミュニティライブラリー、スマートライブラリー）に再編する。さらに、そのランク毎に、運営形態や蔵書冊数も変更するという内容となっている。この再編により、運営形態はコミュニティライブラリーとスマートライブラリーとなる15館が民間委託（指定管理者制度、現在は5館で試行）となる。また、蔵書数についてもランク毎に再編され、蔵書総数も「削減」される。

しかし、この「構想」への認知度は低い。

「構想」によると、千種図書館は第1ブロックに位置づけられ、「構想」で直営を維持するアクティブライブラリー図書館は、「千種区内に置き、モデル館として整備」と記述されている。現在の千種図書館は築50年を経過し老朽化が目立ち、耐震性の問題も指摘されている。また、図書館の南面は土砂崩れの恐れがある「土砂災害特別警戒区域」

となっていることから市民から早期の建て替えの要望が出されている。さらに、地下鉄「東山動物園駅」と「星ヶ丘駅」のちょうど中間の位置にあり、いずれも徒歩で7分かかる不便さから建て替えの際には東山動植物園再生プランで2007年当時の構想のように公共交通機関に近い場所に移転する要望もある。

こうした状況を踏まえ、①区民の「構想に対する」認知度、②民営化など運営形態の変更についての賛否、③図書館機能への期待、などをアンケートで尋ねることとした。

2. 調査の対象

千種区区民のうち1万1,100世帯の住民

3. 調査の方法と期間

返信用封筒付きのアンケート用紙を配布し、回収した。

調査期間は、2018年6月1日（金）～7月31日（火）

4. 調査票

（別紙）

5. 回収数・回収率

回収数は314人、回収率は2.8%

6. 回答者の属性

（1）男女比

男女比では女性が多く、不明者を除くとおよそ3分の2（66.3%）になった。この傾向は約1カ月前



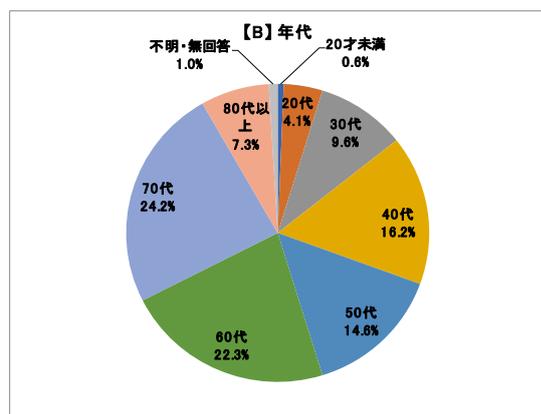
に行った名東図書館アンケートの結果とほぼ同じとなった。名古屋市が2016年8月に実施した市民アンケート（対象1,000人）は、男女を同数としている。

（2）年代

回答者の年齢では、40代以上が85.5%（不明を除く）と大多数であった。なかでも、60歳代、70歳だけで4割を超える（46.9%）この傾向もまた、名東図書館のアンケート結果と同様である。

（3）住んでいる学区

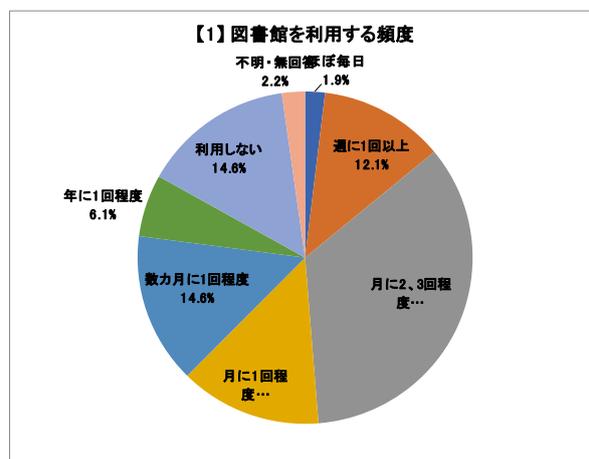
千種区内がほとんど。学区別に回答をしてもらったが、「千種」の回答が多く、回答者が「学区名」と「区」の名称を勘違いした可能性が高い。そのため、図表は掲載しない。



7. 結果の概要

（1）図書館を利用する頻度

利用頻度を7段階に分けて尋ねた。回答者の割合で最も多かったのは「月に2、3回程度」で全体の約3割（34.7%）だった。次いで、「数カ月に1回程度」、「利用しない」が同数（14.6%）、「月に1回程度」（13.7%）、「週に1回程度」（12.1%）と続く。「月に1回程度」を合わせて、毎月利用している利用者は回答者の約6割（58.7%）に達する。毎月利用している人の割合は名東図書館のアンケート結果とほぼ同様である。（図①）



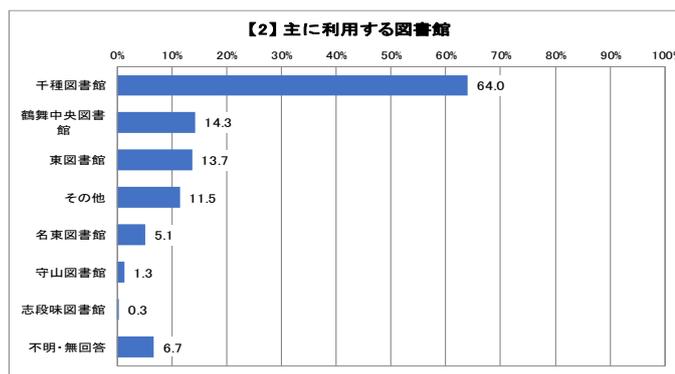
また、「利用しない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、39人から記述があった。そのうち15人から、「交通アクセスが不便」という趣旨の回答があった。また、「建物が古く利用し難いため」「階段の上り下りがおっくう」など、施設に対する注文も複数寄せられた。

「アクティブ・ライブラリー構想」で紹介されている市民アンケートによると、月1回以上の利用者は2割程度（22.8%）であり、名古屋市民が1年間で1点以上の資料を借りた割合は11.7%としていることから、今回の回答者が、一般市民と比べて、図書館の利用割合が多く、図書館への感心が高い人であることがうかがえる。

（2）主に利用する図書館

千種図書館が圧倒的に多く約3分の2（64.0%）になる。他の図書館では、鶴舞中央図書館（14.3%）、東図書館（13.7%）が多い。名東図書館のアンケート結果と比べて「鶴舞」

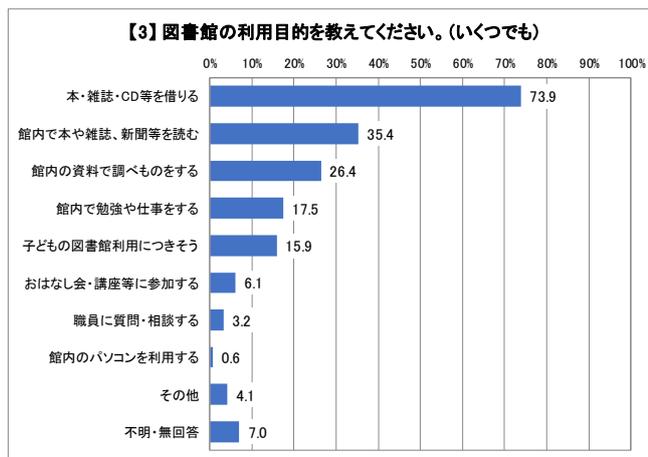
「東」図書館を主に利用している人が多かった。交通の利便性が反映し



ていると思われる。(図②)

(3) 図書館の利用目的

8項目(「その他」を除く)に分けて、尋ねた(複数回答可)。圧倒的に多かったのは、「本・雑誌・CD等を借りる」で約7割(73.9%)。次いで、「館内で本や雑誌、新聞等を読む」(35.4%)、「館内の資料で調べものをする」(26.4%)が2割を超えた。(図③)



この割合は、名古屋市民アンケートの結果とほぼ同様の傾向であった。

また、1割を超えたのが、「館内で勉強や仕事をする」(17.5%)、「子どもの図書館利用につきそう」(15.9%)、であった。

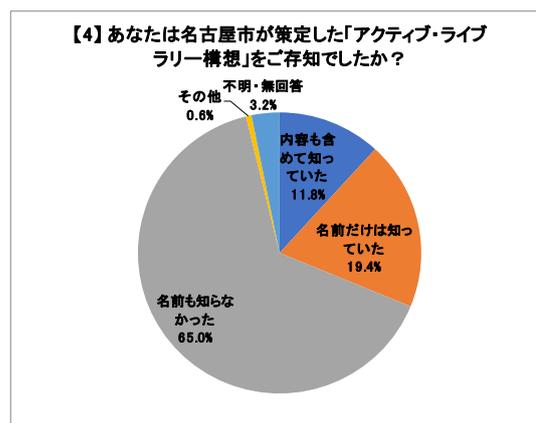
これらの結果は、名東図書館のアンケート結果と大きな違いはなかった。

(4) 「アクティブ・ライブラリー構想」の認知度

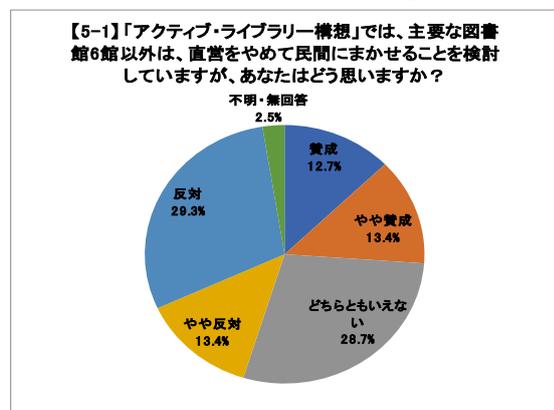
名古屋市が「アクティブ・ライブラリー構想」を策定したのは2017年12月。この「認知度」を3段階に分けて尋ねた。

「名前も知らなかった」という回答がおよそ3分に2(65.0%)に達する。認知度は極めて低い。

一定の認知をしている人の割合のうち、「内容も含めて知っていた」人の割合は約1割に留まった(11.3%)。(図④) この結果は、名東図書館のアンケート結果と同様である。



(5-1) 図書館の「民営化」推進について



「アクティブ・ライブラリー構想」にもとづき、「民間委託」(指定管理者制度)をする図書館を増やし、直営の図書館を市内で6館に減らすことについて、5段階に分けて尋ねた。

「反対」は約3割(29.3%)、「やや反対」を合わせると約4割(42.7%)となった。

ここでは、「どちらともいえない」とする回答が約3割(28.7%)あり、判断に迷っている人が多いことが分かる。一方、明確に「賛成」とする回答は約1割(12.7%)だった。(図⑥) この傾向は、全体としては名東図書館のアンケート結果とほぼ同様だが、反対及び、どちらともいえないとする回答の割合が低く、賛成する割合が高かった。

図書館利用の頻度（設問1）の回答から月1回以上利用している人と数カ月に1回以下の人とを分けて、民営化についての「是非」について見てみた。名東図書館のアンケート結果では、利用している割合の高い人は、民営化に「反対」（やや反対+反対）する割合が12.7ポイント高かったが、今回のアンケートでは民営化の是非について大きな違いは無かった。（図A）

	賛成+やや賛成		どちらともいえない		やや反対+反対		合計	
	数	%	数	%	数	%	数	%
月に1回以上利用	56	29.0%	53	27.5%	84	43.5%	193	100.0%
それ以下の頻度	24	22.4%	35	32.7%	48	44.9%	107	100.0%
合計	80	26.7%	88	29.3%	132	44.0%	300	100.0%

また、「アクティブ・ライブラリー構想」についての認知度（構想を「内容も含めて知っていた」「名前だけは知っていた」）が高い人ほど民営化

	賛成		やや賛成		どちらともいえない		やや反対		反対		合計	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
知っている	2	5.4%	2	5.4%	3	8.1%	4	10.8%	26	70.3%	37	100.0%
名前だけ	3	4.9%	9	14.8%	16	26.2%	5	8.2%	28	45.9%	61	100.0%
名前も知らない	34	17.2%	31	15.7%	67	33.8%	31	15.7%	35	17.7%	198	100.0%
合計	39	13.2%	42	14.2%	86	29.1%	40	13.5%	89	30.1%	296	100.0%

に「反対」していることが分かった。同時にこれらの人においては民営化について「どちらともいえない」割合が少ない。このことは、内容を知ることによって民営化に反対する人が増える傾向を示唆している。この傾向は、名東図書館のアンケート結果と同様だった（図B）

(5-2) その理由

民営化の是非について、その理由を尋ね、238人の方から意見を受けた。（別掲全文）賛否の回答別の内訳は、「賛成」32人、「やや賛成」32人、「どちらともいえない」63人、「やや反対」32人、「反対」79と、反対意見の記載が多かった。

「賛成」「やや賛成」の意見では、民間の運営の方が効率化、コスト削減、サービス向上に繋がるのではないか、という期待が多い。「民間にまかせることにより、サービス内容、コスト、アクセス面などが向上するのであれば、かまわない」など。

「どちらともいえない」とする回答の方は、「メリット・デメリットがよく分からないので判断できない」とする意見が多かった。また、「プランの詳細が不明。今のままが良いと言い切れない。千種図書館は不便すぎる」という意見も寄せられた。

「反対」「やや反対」という意見では、「判断の基準が『利益』優先となるのではないかと懸念されます」など、図書館の運営は「非営利」であるべきだという意見が多かった。また、賛成意見の裏返しになるが、サービスが低下するのではないかとする心配も寄せられた。「他の自治体の民間委託の状況を見ると、直営の時よりもサービスの低下が見られる」「ツタヤの悪例があり、民営化すると本来の図書館の機能が失われる」など。

さらに「個人情報の管理が不安」という趣旨の意見も複数寄せられた。

(6) 図書館に期待する役割

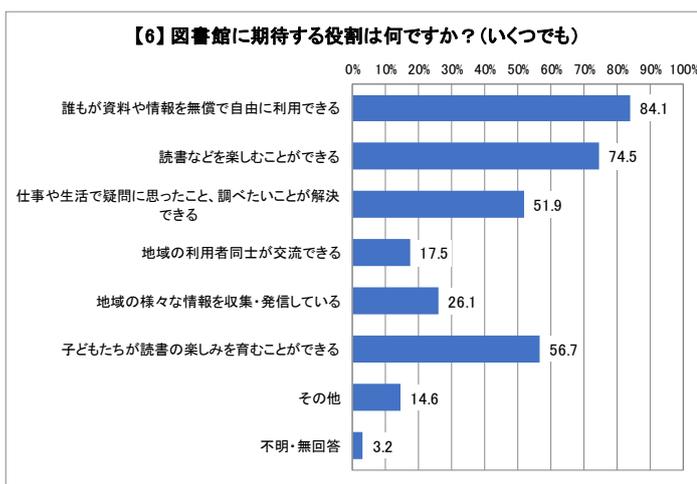
図書館に期待する役割を6項目（「その他」を除く）に分けて尋ねた。（複数回答可）

5割を超えたのは、「誰もが資料や情報を無償で自由に利用できる」

（84.1%）、「読書などを楽しむことができる」（74.5%）、「子どもたちが読書の楽しみを育むことができる」

（56.7%）、「仕事や生活で疑問に思ったこと、調べたいことが解決できる」

（51.9%）であった。次いで、「地域の様々な情報を収集・発信している」も約4人に1人が回答（26.1%）している。これらの図書館機能は、利用者にとっていずれも重要なものである。（図⑥）



この傾向は、名東図書館のアンケート結果とほぼ同様であった。

(7) 千種図書館への要望（自由意見）

千種図書館への意見・要望を尋ねたところ 255 人（全回答者の 81.2%）から記載があった。（別掲）

施設面では、古い、耐震性が心配、階段が多くエレベーターが無くバリアフリーでない、館内が狭い、トイレが古く汚いなど。蔵書については、本が古い、本が少ない、という意見が多く寄せられた。駐車場については、無料なのは良いが狭い、止めにくい、いつも満員などの注文が多かった。そのため、「早く改築して欲しい」という要望が多く寄せられた。

「築 50 年にまもなくするのに今まで耐震補強もされていなかったと聞き、千種区民としてとても心配です。リニューアルを早くしてバリアフリーのエレベーターの設置と建物の増築も含めもっとスペースを広々とし、誰もが利用し易い図書館を望みます」、「最近行くようになったが、あまりの古さにびっくりした」「30 段のぼって建物に行きつき、更に 19 段のぼらないと図書館に行けない」など。

アクセスについては、「交通の便のよいところに立地すべき」という意見が多数寄せられた。一方で、少数ではあるが、現在地の良い点の記載もあった。「図書館に歩いていく道すがら木々の季節の移ろいを感じ、息づかいを感じています。大好きです」など。

「東山動物園改修と一体化して移転改築されると思っていました」という意見も複数寄せられた。

(8) 名古屋市の図書館への要望（自由意見）

名古屋市の図書館への要望を自由に記載していただいた。記入した人は 167 人になった。便宜的に、民営化の是非との関連でまとめてみた。（別掲）

回答者の約 3 分の 2 が千種図書館を主に利用しており、それに対する意見や要望は前問で尋ねているが、ここでも充実を求める意見が多かった。

施設面では古い図書館を新しくすること、蔵書を増やして欲しい、司書の充実、増員を求める

意見が多く寄せられた。

「なごやライブラリー構想」については、「名古屋市発の『1区1図書館』をぜひ、司書のいる図書館、行って楽しい図書館にしてもらいたい」など、批判的な意見が多く寄せられた。「市民の知識、教養の質を高め、文化都市名古屋をつくるためには、書物・資料の宝庫である図書館が身近なところにあることが大事なこと。1～2万冊蔵書の小ライブラリーをたくさん作ることは賛成、ただし、司書を引き上げ集約統合した大図書館づくり（アクティブライブラリー構想）は、市民を図書館から遠ざけることになる」など。

（9）名古屋市政についての要望（自由意見）

名古屋市の市政全体についての要望を自由に記載していただいた。記入した人は141人になった。全体を便宜的に、民営化の是非との関連でまとめてみた。（別掲）

市政全般にわたって幅広い要望が出された。名古屋城の木造復元にかかる市長の政治姿勢について批判的な意見が44人から寄せられた。「お城にばかりお金をかけないで図書館建て替えとか、高齢福祉を充実させるとかしていただきたいです」など。

また、敬老パスを評価する意見が複数寄せられた。「敬老パス制度は是非存続させてもらいたい」など。

河村市長の姿勢に対する批判では、「河村氏は在任中の点数かせぎのみを考えている」「自分の興味のあること（名古屋城など）だけ一生懸命で、市民が必要としていることに目を向けていない」などの意見が寄せられた。

そのほか、図書館問題はもちろん、教育、福祉、交通など多岐にわたる要望が寄せられた。また、アンケートに取り組んだ日本共産党に対して、「がんばってください」など、激励が複数寄せられた。

以上